

## 第二部

# 子どもの人権オンブズパーソンって、 どんな人？



司会

安部 芳絵 (子どもサポート委員)・渡邊 峻平 (相談・調査専門員)

子どもの人権オンブズパーソン

村井 朗子 (小金井市子どもオンブズパーソン)

井利 由利 (西東京市子どもの権利擁護委員)

平尾 潔・太田 由加里 (せたホッと子どもサポート委員)

# 趣旨説明

現在、都内各地で子どもの相談・救済機関である「子どもの人権オンブズパーソン」が設置されつつあります。

## 子どもオンブズワーク

相談・救済機関の重要な職務は、第1に日々の相談業務、第2に調整活動、第3に調査活動とそれに基づく勧告、意見表明・改善等の提言活動、第4に子どもの権利に関する教育、普及・啓発、子どもの相談・救済機関の広報活動などがある。これらは総じて「子どもオンブズワーク」(Ombudswork for Children)と呼ばれている。(半田、2023: 83)

子どもの人権オンブズパーソンって、実際どんな人なののでしょうか？

そこで、西東京市・小金井市の「子どもの人権オンブズパーソン」をお招きし、どのように子どもの声を聴き、環境を調整し、子どもと共に課題の解決に当たっているかを探ります。

それぞれのオンブズワークの共通点とちがいを明らかにしつつ、オンブズワークの裏側をちょっとのぞいてみたいと思います。

第2部は、司会から子どもの人権オンブズパーソンに質問する形です  
すめます。最後にすこしだけフロアからも質問を受けます。

では、さっそくはじめましょう!

